

令和 7 年 度

土 地 改 良 事 業 計 画 書

農 業 用 た め 池 整 備 事 業

都 道 府 県 名 : 福 岡 県

地 区 名 : お お む た 大 牟 田 地 区

所 在 地 : 春 日 市

事 業 主 体 : 春 日 市

目 次

第1章	目 的	1	第6節	地 域 環 境 の 概 況	22
第2章	地 域 及 び 地 積	1	1	植物、動物等生態系の概要	22
第1節	地 域	1	2	その他の地域環境の概要	22
第2節	地 積	2	第4章	一 般 計 画	23
第3章	現 況	3	第1節	事 業 計 画 の 要 旨	23
第1節	気 象 及 び 海 象	3	1	要 旨	23
1	一 般 気 象	3	2	事 業 別 面 積	23
2	特 殊 気 象	3	第2節	営農計画及び土地利用計画	24
3	海 象	4	1	営 農 計 画 の 概 要	24
第2節	土 地 状 況	4	2	土 地 利 用 区 分	24
1	地形、土壌及び侵蝕の程度	4	3	作 付 方 式	25
2	土 地 分 類	6	4	生 産 計 画	26
3	土 地 利 用 の 状 況	7	5	労 働 改 善 計 画	27
4	土 地 所 有 の 状 況	8	6	級地別土地利用区分	28
第3節	水 利 状 況	9	7	土 地 配 分 計 画	29
1	用 水 状 況	9	第3節	用 水 計 画	29
2	排 水 状 況	13	1	計 画 基 準 年	29
3	河 川 の 現 況	16	2	計 画 か ん が い 方 式	29
第4節	道 路 現 況	17	3	計 画 用 水 系 統	29
1	道 路 概 況	17	4	計 画 用 水 量	30
2	主 要 道 路 一 覧 表	17	5	水 源 計 画	32
第5節	地 域 農 業 の 概 況	18	第4節	排 水 計 画	37
1	産 業 別 就 業 人 口	18	1	計 画 基 準 雨 量	37
2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	19	2	計 画 排 水 方 式	37
3	動力農機具及び主要家畜頭数	19	3	計 画 排 水 系 統	37
4	主 要 作 物 作 付 状 況	20	4	計 画 排 水 量	38
5	農 業 の 動 向	21	5	排 水 対 策	39
			6	湛 水 検 討	41

第5節	道 路 計 画	42
1	道 路 及 び 索 道	42
2	路 線 配 置 図	43
第6節	農 用 地 造 成 計 画	44
1	農 用 地 造 成 計 画	44
2	土 壌 改 良	44
第7節	洪 水 調 節 計 画	45
1	計 画 基 準 雨 量	45
2	計 画 洪 水 量 及 び 調 節 量	45
3	貯 水 池	45
4	洪 水 調 節 検 討	46
5	管 理 計 画	46
第8節	干 拓 計 画	47
第9節	農 用 地 整 備 計 画	48
1	区 画 整 理	48
2	暗 渠 排 水	50
3	客 土	51
4	農 地 保 全	51
第10節	老 朽 た め 池 改 修 計 画	52
1	洪 水 吐 改 修 計 画	52
2	堤 体 補 強 計 画	52
3	取 水 施 設 改 修 計 画	52
第5章	主 要 工 事 計 画	53
第1節	用 水 施 設	53
1	貯 水 池	53
2	頭 首 工	53
3	揚 水 機	54
4	用 水 路	54
5	そ の 他 か ん が い 施 設	54

第2節	排 水 施 設	55
1	排 水 水 門	55
2	排 水 機	55
3	排 水 路	56
4	そ の 他 排 水 施 設	56
第3節	道 路 及 び 索 道	57
1	道 路	57
2	索 道	58
第4節	農 用 地 造 成	59
1	農 用 地 造 成	59
2	土 壌 改 良	60
第5節	洪 水 調 節 施 設	61
1	貯 水 池	61
2	頭 首 工 及 び 導 水 施 設	61
第6節	干 拓 施 設	62
1	堤 防	62
2	潮 止 め	62
3	付 属 施 設	62
4	埋 立	62
第7節	農 用 地 整 備 施 設	63
1	区 画 整 理	63
2	暗 渠 排 水	64
3	客 土	65
4	除 礫	65
5	農 地 保 全	66
第8節	老 朽 た め 池 改 修 施 設	67
1	貯 水 池	67
2	堤 体 補 強 施 設	67
第6章	附 帯 工 事 計 画	68
第7章	工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 期 間	68

第8章	環境との調和への配慮	69
第1節	配慮の対象	69
1	動物	69
2	植物	69
3	その他	69
第2節	配慮の考え方	69
1	施工上の配慮	69
2	施設計画上の配慮	69
第9章	換地計画の概要	70
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	70
第2節	換地区の設定	70
1	換地区の名称、所在、面積	70
2	換地区を設定する理由	70
第3節	換地計画樹立の基本方針	70
1	従前の土地の面積の基準	70
2	用途別予定地積	71
3	農用地集団化の方針	72
4	非農用地の換地方法	72
第4節	土地の評価及び清算の方法	73
1	評価の方法	73
2	清算の方法	73
第5節	換地計画樹立の年度計画	73
第6節	換地処分の特則	73
第10章	事業費の総額及び内訳	74
第11章	効用	74
第12章	関連する事業	75
第13章	現況・計画図面	75

第1章 目 的

(1) 必要性

本地区のため池・堤体は老朽化に伴い漏水が著しく、危険な状態にある。また、洪水吐は断面不足となっている。また、取水施設は機能低下を生じており十分な機能を果たしていない。

(2) 緊急性

本ため池施設の下流側は宅地、病院、学校などの公共施設、緊急輸送経路などの重要な道路があり決壊による被害が甚大なものとなる。レベル2地震動によって堤体の大部分が沈下し、決壊を引き起こす恐れがあり、また、堤体中腹からの漏水や洪水吐の能力不足により堤体・洪水吐の余裕高も不足していることから、早急に整備する必要がある。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業用ため池整備事業	受益地：福岡市博多区・南区
	大牟田地区は春日市役所から南東に約1.5kmの市街地に位置する。池周辺は北―南方向の尾根に囲まれ、南側に水源を有する。

第2節 地 積

(第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用ため池整備事業	春日市	3.1	—	—	—	50.3	53.6	田は干ばつ被害を含む
	計	3.1	—	—	—	50.3	53.6	
合 計		3.1	—	—	—	—	53.6	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一 般 気 象

(第3表－1)

1. 一 般 気 象

(第3表－1)

観 測 所 名	福岡観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観 測 期 間	昭和12年～令和5年	4月～10月	11月～3月		
平 均 気 温 (℃)		22.0	9.0	31.0	
降 水 量	平 均 (mm)	183.0	281.0	464.0	
	基準年 (mm)	－	－	－	
降水日数	平 均 (日)	82	61	143	
	基準年 (日)	－	－	－	
根 雪 期 間		月 日 ～ 月 日	日間		
無 霜 期 間		月 日 ～ 月 日	日間		
最 多 風 向		北	最大風速 (風向)	32.5 m/s (北)	最大風速発生年月 昭和26年10月

2. 特 殊 気 象

(第3表－2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
福岡観測所															
観 測 期 間	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率
昭和12年～令和5年															
最大日雨量 (mm)	307.8	S28.6.25	－	269.6	S16.6.26	－	257.6	1905/7/26	－	236.0	2018/7/6	－	233.0	1983/7/16	－
最大時間雨量 (mm)	96.5	H9.7.28	－	79.5	1999/6/29	－	73.2	1957/8/3	－	72.5	2013/8/30	－	71.5	2009/7/24	－
最大4時間雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
最大連続雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
最大連続干天日数 (日)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名		既往最高	さく望平均	上下弦平均	平均潮位	上下弦平均	さく望平均	既往最低	備 考
観測期間	年～ 年	潮 位 (m)	満 潮 位 (m)	満 潮 位 (m)	(m)	干 潮 位 (m)	干 潮 位 (m)	潮 位 (m)	
	該当なし								

第2節 土 地 状 況

1. 地形、土壌及び侵蝕の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備 考
	傾斜	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8°～15°			15°	20°	計	最 高	最 低	
	以下	以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	3° ～ 8°	8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上				
農業用ため池整備事業	面積 (ha)		2.8				2.8									13.3	8.5	
	比率 (%)		100				100											
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合 計	面積 (ha)		2.8				2.8											
	比率 (%)		100.0				100											

(第4表－1－2)

土 壤 統 (区) 名	項 目	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備 考
		土 壤 断 面							堆積様式	母材	事 業 名		計	
		色	腐植層	礫層	酸化沈殿物	土 性					泥炭層 黒泥層 及び グライ層			
						表土	下 層 土							
						一層	二層	三層						
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8		2.8	
	計										2.8		2.8	

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				カリー浸食の程度		備 考
		0	0～ 25%	25～ 50%	50% 以上	0	3mm 未満	3～ 5mm	5mm 以上	中 程 度 の も の	大 な る も の	
	面 積 (ha)			該 当 な し								
	比 率 (%)											

2. 土 地 分 類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			※ (ha)	3° ~ 0° (ha)	0° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※ (ha)	15~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)
													※ は傾斜以外の要因によるもの	
計														

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓					備 考
		一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)	計 (ha)	
				該 当 な し			
	計						

3. 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	市町村名	土地利用別	耕 地					山 林		採草放牧地	原 野	その他	計	備 考
			水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ 樹 の 園 他 の 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 材 (ha)				
農業用ため池整備事業	春日市		2.8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	
	計		2.8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	
	計													
	計													
合 計			2.8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	

4. 土地所有の状況

(第4表－4)

事業名	所 有 別 区 分	個 人 有	国 有	県 有	町 有	計	備 考
農業 用ため池 整備事業	面 積 (ha)	2.8				2.8	
	受 益 者 数 (人)	12				12	
	筆 数 (筆)	28				28	
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
	面 積 (ha)						
	受 益 者 数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
	面 積 (ha)						
	受 益 者 数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
合 計	面 積 (ha)	2.8				2.8	
	受 益 者 数 (人)	12				12	
	筆 数 (筆)	28				28	
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						

第3節 水 利 状 況

1. 用 水 状 況

(1) 用 水 状 況

大牟田池を主水源として、受益地3.0haをかんがいしている。

最大取水量 0.059 m³/S

(2) 用 水 施 設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表－1)

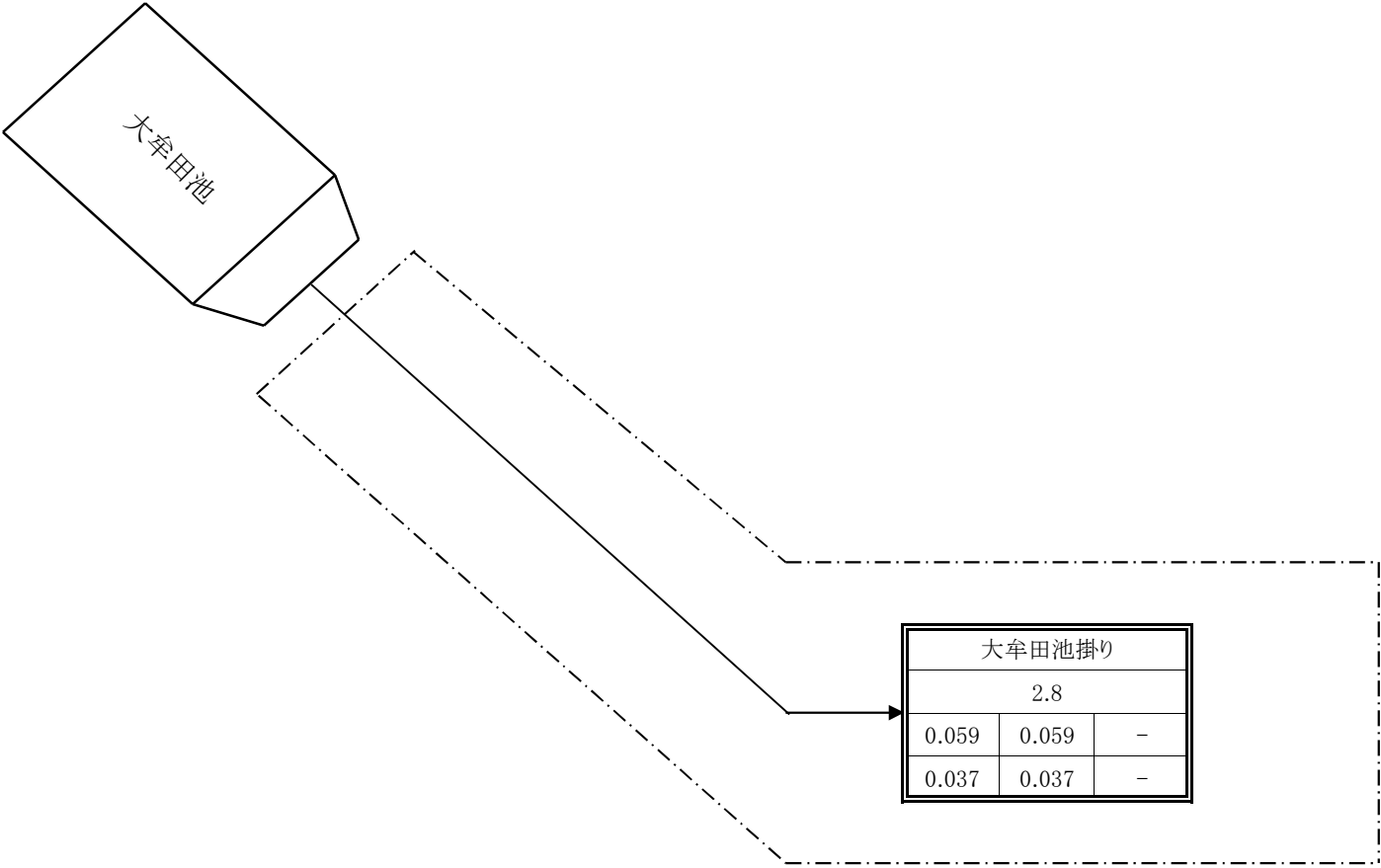
事業名	項 目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備 考
		40ha以上		40～5ha		5ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s		
農業用ため池整備事業	貯 水 池					1	2.8	1	2.8			1	0.059	0.059	
	井 堰														
	自然取入口														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計					1	2.77	1	2.8			1	0.059	0.059	
	貯 水 池														
	井 堰														
	自然取入口														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計														
	貯 水 池														
	井 堰														
	自然取入口														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計														
合 計				1	0			1	0.0			1	0.059	0.059	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表－2)

事業名	項 目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更 新	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
	施設名							
農業用ため池整備事業	貯 水 池	1	2.8	均一型	205,400m3	不明	耐震性能不足、漏水	
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
	計	1	2.8		205,400m3			
	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
	計							
	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
	計							
合 計		1	2.8		205,400m3			

現 況 用 水 系 統 図



凡 例													
記 号	名 称												
	既 設 水 路												
	頭 首 工												
	貯 水 池												
<table border="1" data-bbox="1765 718 1912 810"><tr><td colspan="3">(イ)</td></tr><tr><td colspan="3">(ロ)</td></tr><tr><td>(ハ)</td><td>(ニ)</td><td>(ト)</td></tr><tr><td>(ホ)</td><td>(ヘ)</td><td>(ト)</td></tr></table>	(イ)			(ロ)			(ハ)	(ニ)	(ト)	(ホ)	(ヘ)	(ト)	地 区 外
(イ)													
(ロ)													
(ハ)	(ニ)	(ト)											
(ホ)	(ヘ)	(ト)											
<table border="2" data-bbox="1760 847 1915 938"><tr><td colspan="3">(イ)</td></tr><tr><td colspan="3">(ロ)</td></tr><tr><td>(ハ)</td><td>(ニ)</td><td>(ト)</td></tr><tr><td>(ホ)</td><td>(ヘ)</td><td>(ト)</td></tr></table>	(イ)			(ロ)			(ハ)	(ニ)	(ト)	(ホ)	(ヘ)	(ト)	地 区 内
(イ)													
(ロ)													
(ハ)	(ニ)	(ト)											
(ホ)	(ヘ)	(ト)											
(イ)	路 線 名												
(ロ)	灌 漑 面 積												
(ハ)	代 掻 期 粗 用 水 量												
(ニ)	代 掻 期 利 用 可 能 量												
(ホ)	普 通 期 粗 用 水 量												
(ヘ)	普 通 期 利 用 可 能 量												
(ト)	不 足 水 量												

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現 況 必要水量 (千m ³)	不 足 水 量				平均減産量 (t)		備 考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量	
				平 均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平 均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			
				該 当 な し						
	計									
	合 計									

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温($^{\circ}\text{C}$)		水 質	被 害 量 (t)	備 考
			最高	最低			
			該 当 な し				

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

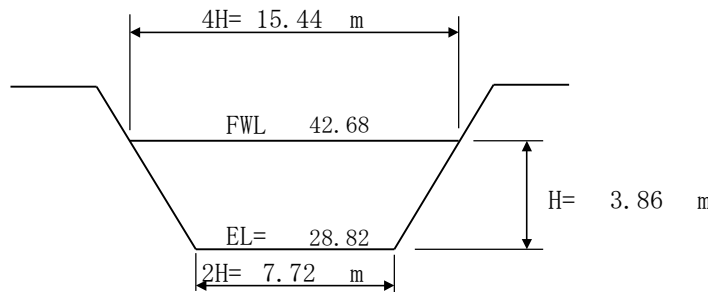
事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(千円)						人命 (人)	備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
農業用ため池整備事業	3.1	0.0	50.5	53.6	1,578	23,557	88,928	9,281	10,295,156	10,418,500	0	
計	3.1	0.0	50.5	53.6	1,578	23,557	88,928	9,281	10,295,156	10,418,500	0	

(5) 原因究明

ため池の老朽化による堤体下流法尻からの漏水により、今後の漏水量が増大すれば堤体のパイピングを誘発し、堤体の決壊は十分予想される。

本溜池が決壊すれば約23,000m³の貯留水が氾濫し、宅地、農地、農業用施設等多大の被害が及ぶことになる。

よって、溜池決壊における被害を未然に防止する目的で早急な改善が望まれる。



・総流出量 = ため池貯水量(現況) = 205,000 m³

・流出洪水量

$$Q = q_1 + q_2$$

$$\text{但し } q_1 = 4.5 \cdot H^{5/2} = 5 \times 3.86^{5/2} = 131.73 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

$$q_2 = 4.861 \text{ (m}^3/\text{S)} \quad \text{洪水吐設計洪水量}$$

$$Q = 131.73 + 4.861 \approx 136.6 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

$$\text{よって } Q = 136.6 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

2. 排水状況

(1) 排水系統

該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目		排 水 面 積						計		排 水 慣 行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備 考
			500ha以上		100～500ha		100ha未満						
			施 設 名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所			
	自然	排 水 路											
		水 門											
	機械	排 水 機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	自然	排 水 路											
		水 門											
	機械	排 水 機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合 計													

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表－5)

事業名	項 目		施設名 又は 箇所数	構 造	規 模	新 設 又 は 更 新	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
	施 設 名							
	自然	排 水 路						
		水 門						
	機械	排 水 機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
	自然	排 水 路						
		水 門						
	機械	排 水 機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
	自然	排 水 路						
		水 門						
	機械	排 水 機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
合 計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表－6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平 均 減 産 量 (t)		備 考
					湛 水 深 (cm)	湛 水 時 間 (hr)	湛 水 面 積 (ha)	湛 水 量 (千m³)	田		畑		その他		作 物 名	減 産 量	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年			該 当 な し											
	計		平均														
			基準年														
合 計			平均														
			基準年														

3. 河 川 の 現 況

(1) 河川の現況

(第5表－7)

項 目 河川名	流 路 状 況	勾 配	断 面	安全洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考
		該 当 な し				

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表－8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農 用 施 設 (百万円)	作 物 (百万円)	公 共 施 設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額		該 当 な し			
平 均 被 害 額					

第4節 道 路 状 況

1. 道 路 概 況

該 当 な し

2. 主要道路一覧表

(第6表)

	路 線 名	管 理 区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の可否	備 考
				全 幅	有 効			

第5節 地 域 農 業 の 概 況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 ガ ス 熱 供 給 水 道 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	御 売 小 売 業 飲 食 店 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
春日市	46, 545	125	5	0	0	4, 034	3, 060	378	4, 066	8, 596	1, 307	1, 354	3, 855	3, 493	16, 272	出典； R02年 国勢調査報告
計	46, 545	125	5	0	0	4, 034	3, 060	378	4, 066	8, 596	1, 307	1, 354	3, 855	3, 493	16, 272	
比 率 (%)	100	0%	0%	0%	0%	9%	7%	1%	9%	18%	3%	3%	8%	8%	35%	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)						耕 地 の 分散状況		専兼業別農家数 (戸)			備 考
		例外規定の適用を 受けるもの	0.5	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり 団地数	団地当たり面積 (a)	専業	兼業		
			未満	～	～	～	～	～	～	～	～											以上	第一種	
春日市	23	0	9	10	3	1	0	0	0	0	0		0.74	0.47	1.33	2.54	-	2.54	-	-	0	5	17	令和2年 農林業 センサス
計	23	0	9	10	3	1	0	0	0	0	0		0.74	0.47	1.33	2.54	-	2.54	-	-	0	5	17	
比率(%)	100	0%	39%	43%	13%	4%	0%	0%	0%	0%	0%										0.00%	22.73%	77.27%	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項 目 市町村名		動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
		田植機		トラクタ		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
		数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	
春日市		20	20	33	27	20	20			0	0	0	0	0	0	-	-	動力農機具 平成27年農林業センサス 主要家畜 令和2年農林業センサス
計		20	20	33	27	20	20			0	0	0	0	0	0	-	-	
100戸当たり数量 (台, 頭)		100		122		100				-		-		-		-		
利用戸数割合(%)		31%		38%		31%				-		-		-		-		

4. 主要作物作付状況

(第7表－4)

市 町 村 名			春日市						計	平 均	作 付 率	備 考
総耕地面積 (ha)			10.0						10	-		
総本地面積 (ha)			9.0						9	-		
区 分 作 付 名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	表 作	水 稻	4	450					4	450	40%	第70次 九州農林水産 統計年報
		大 豆	0	0					0	0	0%	
	裏 作	大 麦	0	0					0	0	0%	
		小 麦	0	0					0	0	0%	
	小 計		4						4		40%	
畑	春夏作											
	秋冬作											
	小 計											
樹園地		梅										
		みかん										
		柿										
		ぶどう										
		なし										
	小 計											
計			4					4				
市町村別延べ作付率(%)			40%									

5. 農業の動向

(H27年現在)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作 物 名	B	A (現在)	家 畜 名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の 状 況 (C年を 100と する 指 数)	総 農 家 数	89	86	耕 地	100	90	水 稻	86	86	乳 用 牛	-	-	トラクター	84	89	春日市 過疎地域 H22 中山間地域 H22 広域営農団地 S53 野菜指定産地 H17 野菜集団産地 S61,H12 酪農肉用牛生産 H18	農林業センサス A: 平成27年 B: 平成22年 C: 平成17年 -: 公表数値なし
	専業農家数	67	67	田	94	75	麦 類	-	-	肉 用 牛	-	-	噴 霧 機	-	-		
	第 一 種 兼業農家数	67	0	畑	100	133	大 豆	-	-	豚	-	-	動力田植機	77	67		
	第 二 種 兼業農家数	96	100	樹 園 地	100	100				採 卵 鶏	-	-	コンバイン	82	71		
				草 地													
理 由	農産物価格の低迷、後継者不足、高齢化などの理由から離農する人が増えている。			耕地の宅地化が進んでいる。家族化に伴う住宅用地等への変更の為、農用地の減少がある。			転作により水稻の作付け面積は、減少しているが、転作の大豆、麦等の作付け面積は増加している。			農家規模縮小の為、家畜飼育頭数は同等及び減少傾向にある。			農機具の価格が高くなり、兼業農家では、購入が難しく、農協や中核農家へ、作業委託するケースが増えつつある。				

第6節 地 域 環 境 の 概 況

1. 植物、動物等生態系の概要

福岡都市圏の中心に近い立地を占める春日市では、自然環境（生態系）は限定的で二次的なものであり、本来の構成より貧化したものとなっている。しかし、比較的自然性が高い牛頸川などの河川やため池周辺を中心として樹林地やオニバス、ツクシナルコなどの地域性のある重要種などが生育、生息している。なお、本市における哺乳類の生息状況は、どの地域でも生息している種の一部が確認されているだけで、特に希少種は発見されていない。

当該ため池周囲の植物・動物等の生態状況

昆虫類	アメンボ、オオカマキリ、イナゴ、ギンヤンマ、ベニトンボなど
鳥類	ハト、カラス、ツバメ
魚類	未確認
植物	コバンソウ、ヒメジョオン

2. その他地域環境の概要

春日市は、東西4キロメートル、南北5.34キロメートルのひし形に近い円形をしており、面積は14.15平方キロメートルで、福岡県内で一番面積の小さな市である。

玄海灘に注ぐ、背振山系を源とする那珂川と宝満山を源とする御笠川に挟まれ、標高は、最高が上白水地区の174.5メートル、最低が桜ヶ丘地区の13.5メートルで、南から北に向けてなだらかな傾斜を持つ丘陵地である。

第4章 一 般 計 画
第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

項 目	事 業 を 必 要 と す る 理 由	改 修 ・ 補 強 工 法
取 水 施 設		
洪 水 吐	○計画能力4.861m ³ /s > 現況能力3.030m ³ /s 洪水吐の能力不足(余裕高不足)	正面越流堰式 B=3.5m(越流部) 鉄筋コンクリート三面張水路 L=46.9m
堤体又は基礎 からの漏水状況	・堤体法尻(堤高の中段段付近)から漏水している。 ・漏水量 堤体15.9ℓ/min>60ℓ/min(許容値)	基礎排水暗渠ドレーン設置
堤 体	堤体安定照査：下流側が安全率1.20以下 下流側の沈下量がFWLを下回る 堤体変形率：4.37% < 5.0% 以上から漏水量、変形率は許容値以下となるが、堤体の強度は低下しているため早急に改修を必要とする。	堤体改修工法：地盤改良及び押さえ盛土工法
その他被災暦・改修暦 ・溜池依存の状況等 特記事項		

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	農業用ため池整備事業																					計	備 考
	田	輪 換 耕 地	普 通 畑	牧 草 畑	果 樹 園	そ の 他	小 計	田	輪 換 耕 地	普 通 畑	牧 草 畑	果 樹 園	そ の 他	小 計	田	輪 換 耕 地	普 通 畑	牧 草 畑	果 樹 園	そ の 他	小 計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
災害防止	2.8						2.8															2.8	
計	2.8	—	—	—	—	—	2.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業により、大牟田池の貯水機能を回復し、水供給の安定化により干害被害を防止する。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	田	輪換耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	その他	小計	原野	山林	(買収) その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用ため池整備事業	現況	2.8	-	-	-	-	-	-	2.8				2.8	
	計画	2.8	-	-	-	-	-	-	2.8				2.8	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	2.8	-	-	-	-	-	-	2.8	-	-	-	2.8	
	計画	2.8	-	-	-	-	-	-	2.8	-	-	-	2.8	

3. 作 付 方 式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												備考		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
農業 現況 ため	田(表)	水 稲					○	△	—				×	×					○	△	—				×	×		○△×		
		大 豆							○	○	—				×	×					○	○	—				×	×	播移収 種植穫	
	田(裏)	麦						—																						
池 整計 備 事業	田(表)	水 稲					○	△	—				×	×					○	△	—				×	×				
		大 豆							○	○	—				×	×					○	○	—				×	×		
	田(裏)	麦						—																						

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用 区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳(t)		備考		
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり 収量増加			
農業 用 た め 池 整 備 事業	農 業 用 地	輪 換	表作	水 稲	2.8	2.8	-	100.0	100.0	448	448	-	12.4	12.4	-	-	-		
															-	-	-		
															-	-	-		
			小 計		2.8	2.8	-	100.0	100.0				12.4	12.4	-	-	-		
		耕 地	裏作	麦（小麦）												-	-	-	
			小 計												-	-	-		
			計		2.8	2.8	-	100.0	100.0				12.4	12.4	-	-	-		
			普 通 畑	春夏作															
	秋冬作																		
	計																		
	合 計				2.8	2.8	-	100.0	100.0				12.4	12.4	-	-	-		

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目		作物名	作物面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備考		
	土地利用区分				区分	現況	計画	増減			
	輪換耕地	表作									
			裏作								
		計									
			普通畑	表作							
		裏作									
	計										
	合計										

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区分 級地名 土地利用区分		農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑 園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表－6)

区分	項目	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)							備 考	
			田	輪換耕地	畑						計
					普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反			()	()	()	()	()	()	()		
入 植			()	()	()	()	()	()	()		

第3節 用 水 計 画

1. 計画基準年

—

2. 計画かんがい方式

受益地区内水路による自然かんがい

3. 計画用水系統

受益地上流に位置する大牟田池を主水源とし、2.8haをかんがいする。

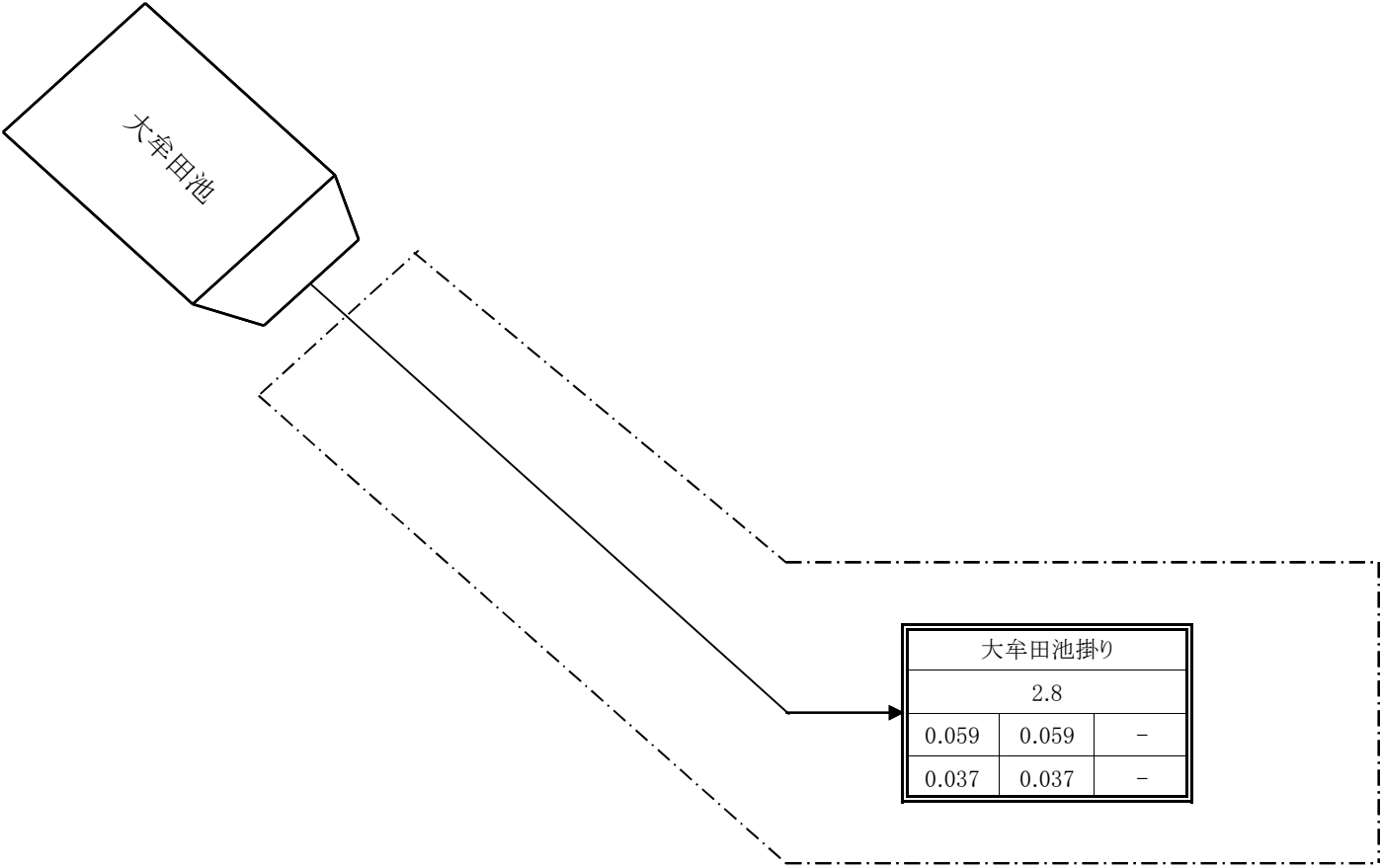
4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系 統 図	項 目	種 別	面 積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			そ の 他		消 費 水 量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考
			事 業 名		普 通 期	代 掻 期	面 積 (ha)	一 日 当 たり 計 画 平 均 かん 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	一 日 当 たり 計 画 平 均 かん 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	単 位 用 水 量 計 画 平 均 (mm/日)	面 積 (ha)			平 均	最 大	
			農 業 用 整 備 事 業 た め 池		計 単 位 用 水 量 画 平 均 (mm/日)	計 単 位 用 水 量 画 代 掻 (mm/日)														
	大牟田池掛り		2.8		15.0	150.0	2.8										15	0.011	0.037	

計 画 用 水 系 統 図



凡 例													
記 号	名 称												
	既 設 水 路												
	頭 首 工												
	貯 水 池												
<table border="1" data-bbox="1765 718 1912 810"><tr><td colspan="3">(イ)</td></tr><tr><td colspan="3">(ロ)</td></tr><tr><td>(ハ)</td><td>(ニ)</td><td>(ト)</td></tr><tr><td>(ホ)</td><td>(ヘ)</td><td>(ト)</td></tr></table>	(イ)			(ロ)			(ハ)	(ニ)	(ト)	(ホ)	(ヘ)	(ト)	地 区 外
(イ)													
(ロ)													
(ハ)	(ニ)	(ト)											
(ホ)	(ヘ)	(ト)											
<table border="2" data-bbox="1760 845 1915 941"><tr><td colspan="3">(イ)</td></tr><tr><td colspan="3">(ロ)</td></tr><tr><td>(ハ)</td><td>(ニ)</td><td>(ト)</td></tr><tr><td>(ホ)</td><td>(ヘ)</td><td>(ト)</td></tr></table>	(イ)			(ロ)			(ハ)	(ニ)	(ト)	(ホ)	(ヘ)	(ト)	地 区 内
(イ)													
(ロ)													
(ハ)	(ニ)	(ト)											
(ホ)	(ヘ)	(ト)											
(イ)	路 線 名												
(ロ)	灌 漑 面 積												
(ハ)	代 掻 期 粗 用 水 量												
(ニ)	代 掻 期 利 用 可 能 量												
(ホ)	普 通 期 粗 用 水 量												
(ヘ)	普 通 期 利 用 可 能 量												
(ト)	不 足 水 量												

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利用区分	対象面積 (ha)			日 当 給 水 量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名		計	単位給水量 (l/s)	最大給水量 (l/s)			

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第 10 表-2)

[illegible]

(2) 用水対策

(7) 貯水池

(第10表-3)

貯水池名 項目	流域面積(km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
			事業名		計					
	直接	間接	ため池整備事業							
大牟田池	11.8000	-	2.77	-	2.8	20.54	-	2	0.025	

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項 目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)		計	取 水 量 (m ³ /s)		備 考
			事 業 名			最 大	平 均	
計								

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

[illegible]

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m³/s)	延長 (m)	構造	備考
	事業名		計				

(オ) その他の水源施設

該 当 な し

(3) 水 温 水 質

該 当 な し

第4節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量

該 当 な し

2. 計画排水方式

該 当 な し

3. 計画排水系統

該 当 な し

4. 計 画 排 水 量

(第 1 1 表－ 1)

項 目 排水系統名	受 益 面 積 (ha)		計	流域面積		基 準 雨 量 (mm)	降雨による 直接単位 流 出 量 (m³/s/km²)		基底流出量		全排水量(m³/s)			単位排水量		備 考		
	事 業 名			(km²)			(m³/s/km²)		(m³/s/km²)		山 地	平 地		(m³/s/km²)				
				山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地	自 然 排 水	機 械 排 水		山 地	平 地

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名		計	排水量 (m ³ /s)	地区内 たん水深 (m)	名 称	計 画 洪水量 (m ³ /s)	計 画 洪水位 (m)	
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
		事 業 名		計	排水量 (m ³ /s)	地区内 たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
計											

(イ) その他

該当なし

6. 湛水検討

	湛水状況			許容湛水深以上		排水系統	備考
	面積	最大湛水深	最大湛水時間	面積	時間		
現況	ha	cm		ha			
計画							

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目 路線名	幅（有効）× 延長 （m）（km）	構造	既設道路との関係	備考
計				

(2) 索 道

(第 1 2 表－ 2)

項 目 路 線 名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路 線 配 置 図

該 当 な し

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 目	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図

2. 土 壤 改 良

(第13表-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)	土 壤 統(区)名	pH		置換酸度 (Y ₁)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
			H ₂ O	KCI			石 灰 (t)	りん酸質 資 材 (t)	有機質 資 材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該 当 な し

2. 計画洪水量及び調節量（略）

（第14表－1）

地 点	流域面積 (km ²)	洪 水 到達時間 (h r)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最 大 流量の差 (m ³ /s)	最 大 調節量 (m ³ /s)

3. 貯 水 池

（第14表－2）

項 目 貯水池名	流 域 面 積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量 (千m ³)			計画調節 流 量 (m ³ /s)	可能調節 流 量 (m ³ /s)	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 目 的			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該 当 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該 当 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該 当 な し

5. 管 理 計 画

(1) 管 理 機 構

該 当 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準

該 当 な し

(3) 洪水調節要領

該 当 な し

第8節 干 拓 計 画

(第15表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/ s)	気 圧 (m b)	備 考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備 考

(3) 末端道水路配置図

該 当 な し

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗 渠 排 水

(第16表-3-1)

(1) 排水計画表									
項目 区分	面 積 (ha)			土 壤 統(区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{l}{s}$ /ha)	計画後の 地下水位 (m)	集 水 渠 出 口 以 下 の 排 水 方 法	備 考
	事 業 名		計						
計									

(2) 心 土 破 砕

(第16表-3-2)

項 目 区 分		面 積 (ha)		計	土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
		事 業 名					
計							

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)		土壌統 (区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m³)	土 壌 の 性 質		備 考
	事 業 名	計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
計											

4. 農 地 保 全

(1) 防 災 林

(第16表-5-1)

項目 区分	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排 水 工

(第16表-5-2)

項目 名称	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽のため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

計 画 降 雨	観測機関名 計画基準雨量 計画根拠	福岡観測所 118.3mm/hr (1) 200年確率雨量 (A項流量) $\gamma t = 123.6 \text{ mm/hr}$ (2) 既往最大時間雨量 $\gamma t = 106.4 \text{ mm/hr}$ 洪水到達時間15.4分より有効降雨強度 $\gamma t = 123.6 \text{ mm/hr}$ となる。
------------------	-------------------------	---

(2) 計画洪水量

集水面積	直接	11.8 ha	合計
	間接	- ha	11.8 ha
計画洪水量	計算式 流出率 計画洪水量	$Q = 1/3.6 \cdot f \cdot \gamma t \cdot A \cdot 1.2$ 0.82 (総合流出率) $Q = 1/3.6 \times 0.82 \times 150.7 \times 0.118 \times 1.2 \div 4.861 \text{ m}^3/\text{S}$	

2. 堤体補強計画

- (ア) 法面保護工 上流斜面 …… 現況大型張ブロックを復旧し、その上部は堤頂肩まで張芝工
下流斜面 …… 張芝工
- (イ) 漏水防止 下流法尻部にドレーン工を設置し、浸潤線降下を図る。

3. 取水（放流）施設改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

表 2-2-2 河川施設										
名 称				位 置	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m ³)	基礎地盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
堤 体	型 式	流 域 面 積 (k m ²)		堤 高 (m)				総貯水量	有効貯水量	
		直 接	間 接							
洪水吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)	

2. 頭首工

(第17表-2)

名 称				位 置				備 考
型 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m ³ /s)	付帯施設	
		固 定 部	可 動 部	計				
計								

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (KW)	台数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい 面 積 (ha)		通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名	計		開きよ	トンネル その他	計				
計										

5. その他かんがい施設
該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m^3/s)	備考
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m^3/s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネル その他	計				
計										

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効) (m)×延長 (m)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
計										

(2) 道路主要構造物

(第 19 表 - 2)

項 目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

2. 索 道

(第 19 表 - 3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/h r)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha 当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

(2) 除礫

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha 当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項目 区分	面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法		
	該当なし		
計			

(4) 地目変換

(第20表-4)

項目 区分	面積 (ha)	工法	備考
	該当なし		
計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項 目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考
	該当なし			
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項 目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考
	該当なし			
計				

2. 土 壤 改 良

(第20表-7)

項 目 区 分	面 積 (h a)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該 当 な し

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名 称			位 置	堤 長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
				固 定 部	可 動 部	計			
型 式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)							

(2) 導水路

(第21表-3)

項 目 水路名	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			

第6節 干 拓 施 設

1. 堤 防

(第22表-1)

項目 名称	形 式	延 長 (m)	構 造				原地盤標高(m)		備 考
			堤長標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	

2. 潮 止 め

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3. 付 属 施 設

該 当 な し

4. 埋 立

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m^3)	面 積 (ha)	土 量 (m^3)	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
区 分				
計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
区 分				
計				

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)		集 水 渠				排 水 渠						集水渠出口以下 の 排 水 施 設			備 考
	事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数 量 (m/ha)	
計																

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

3. 客 土

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m³)	土取場土量 (m³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名		計					
計								

4. 除 礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
		該当なし				
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
		該当なし		
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

項目 区分	構造	数量	備考
	該当なし		
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名 称	大牟田池				位 置	福岡県春日市大字春日		
堤 体	形 式	流 域 (km^2)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m^3)	堤 体 幅 (m)	貯 水 量 (千m^3)	備 考
	押さえ盛 土工法	0.1180	10.00	170.0	62,100	6.10	20.54	
洪水 吐	形 式	洪 水 量 (m^3/s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設 (現 況 利 用)	形 式	取 水 量 (m^3/s)	備 考
	正面越流型	4.86	46.9			斜樋 - VP管 底樋 - HP管	0.025	$\phi 150$ L=20.0m $\phi 600$ L=65.0m

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

堤体上流法面は、現況大型張ブロックを復旧し、その上部は堤頂肩まで張芝工とする。

堤体下流法面は、張芝工を施工する。

(2) 漏水防止工

下流法尻部にドレーン工を設置し、浸潤線降下を図る。

第6章 附帯工事計画

該 当 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工事の着手及び完了の予定

工 期 着手予定 令和 7年度

完了予定 令和 9年度 3ヵ年

2. 工 程 表

(単位：千円)

	全 体	令和7年度	令和8年度	令和9年度					
堤 体 工	351,000		226,000	125,000					
法 面 保 護 工	-								
取 水 設 備 工	-								
洪 水 吐 工	20,000			20,000					
仮 設 工	24,000		21,000	3,000					
測 量 試 験 費	25,000	15,000	10,000						
用地費及び補償費	1,000			1,000					
小 計	421,000	15,000	257,000	149,000					
工 事 雑 費	8,000	300	5,000	2,700					
地 方 事 務 費	21,000	700	13,000	7,300					
事 業 費	450,000	16,000	275,000	159,000					
同 上 百 分 率	100.0%	3.6%	61.1%	35.3%					

第8章 環境との調和への配慮

第1節 配慮の対象

1. 動物

該当無し

2. 植物

該当無し

3. その他

該当無し

第2節 配慮の考え方

1. 施工上の配慮

- ・工事範囲を最小限にするとともに、もし希少生物を発見した場合は移植、移動を行い代替生息域を確保する。

2. 施設計画上の配慮

- ・工事の施行時期を、生物の生活・生態等を考慮し、なるべく10月以降に実施する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該 当 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積

(第25表－1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)

2. 換地区を設定する理由

該 当 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表－2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準	

2. 用途別予定地積

(単位：ha)

(第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前 後	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地											機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計		
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施工地 域に含める土地 〔令第1条の9()書き〕			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	機能交換に 係る土地					合 計	
						土 良 地 改 設	そ の 他	計		改 良 区 域	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	計		農 業 用 地 合 理 化	施 設 用 地 合 理 化	生 活 上 の 施 設 用 地	公 用 設 備 用 地	施 設 用 地 等		計	国	県				市 町 村 他
合計	従前の土地																														
	換地																														

3. 農用地集団化の方針

(第 25 表-4)

区分		個 人 別 換 地 の 方 法		
換地区名	地帯別・グループ別 団 地 の 設 定	位 置 の 選 択 方 法	一戸あたりの目標団地数	区画畦畔の取り扱い

4. 非農用地換地の方法

(第 25 表—5)

[illegible]

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

該 当 な し

2. 清算の方法

該 当 な し

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の決定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考

第6節 換地処分の時期に関する特則

該 当 な し

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名		農業用ため池整備事業	
区分		(千円)	備考
工事費		395,000	
用地費及び補償費		1,000	
換地費		—	
測量試験費		25,000	
工事雑費		8,000	
地方事務費		21,000	
計		450,000	
関連事業			

第11章 効 用

(単位：千円) (第27表)

事業名	区分	年総効果（便益）額	年増加農業所得額		備考
農業用ため池整備事業	効果項目				
	維持管理費節減効果	1	30		
	災害防止効果(農業関係資産)	4,819	—		
	災害防止効果(一般・公共資産)	434,848	—		
	合計	439,668	30		

総費用額： 339,859千円 総便益額： 8,956,889千円 総費用総便益比： 26.35 所得償還率： —

第 1 2 章 関連する事業

1. 道路事業との調整

該当なし

2. 高付加価値農業の営農に必要な対策

(1) 目 的

該当なし

(2) 事業内容

該当なし

(第 2 8 表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第 1 3 章 現況・計画図面

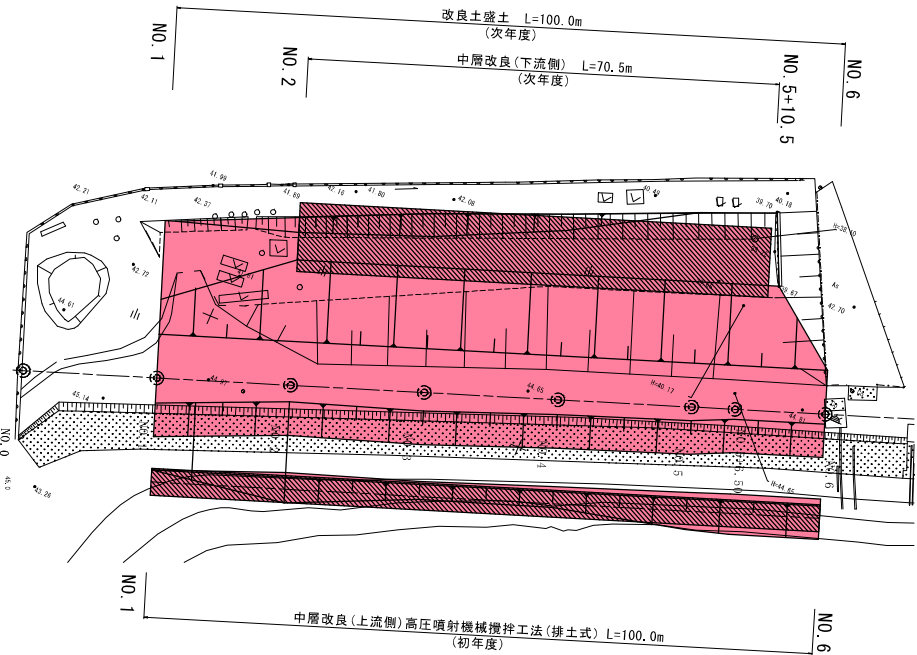
1. 現況・計画平面図

添付図面参照

農村地域防災減災事業 大牟田地区 地区概要図

平面図

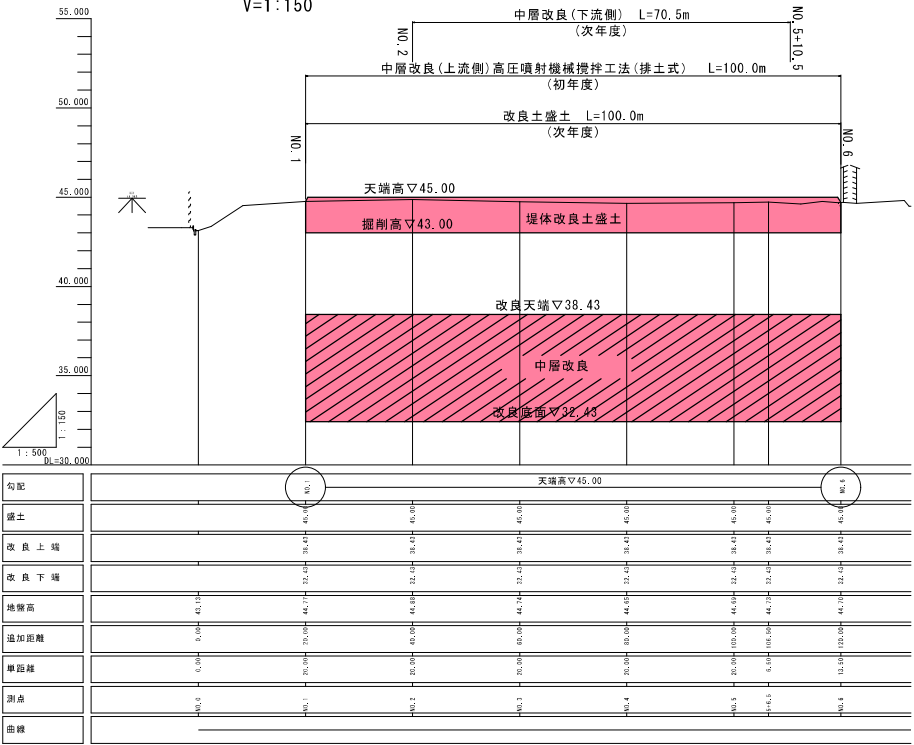
S=1:400



縦断面図

H=1:500

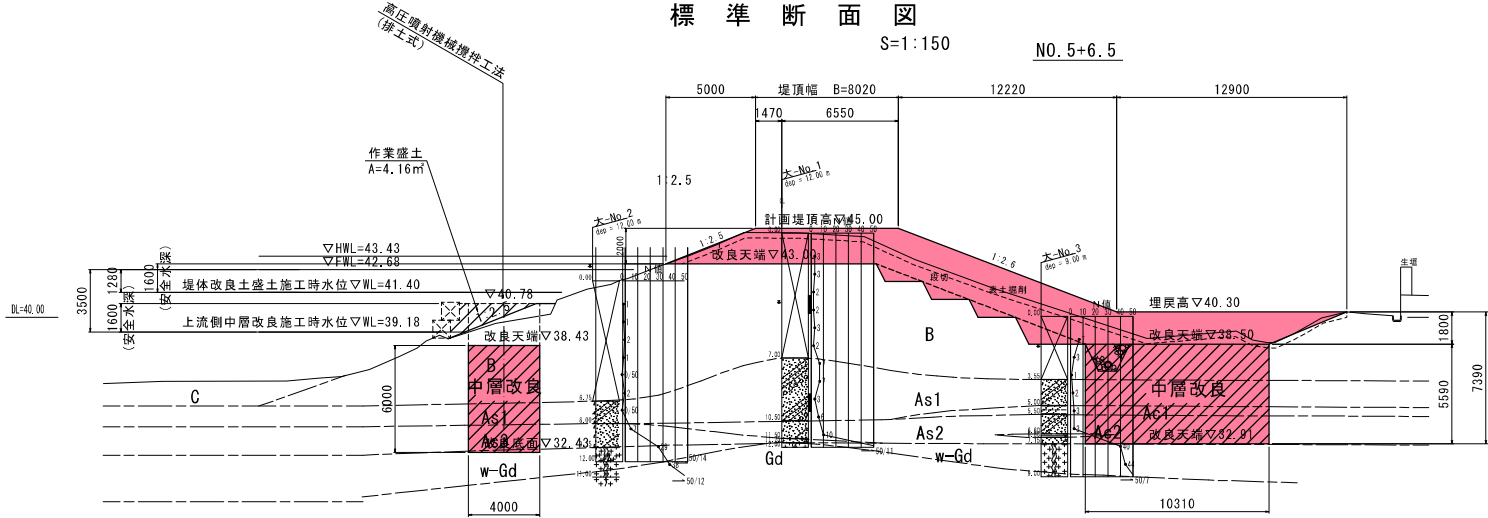
V=1:150



標準断面図

S=1:150

NO. 5+6.5

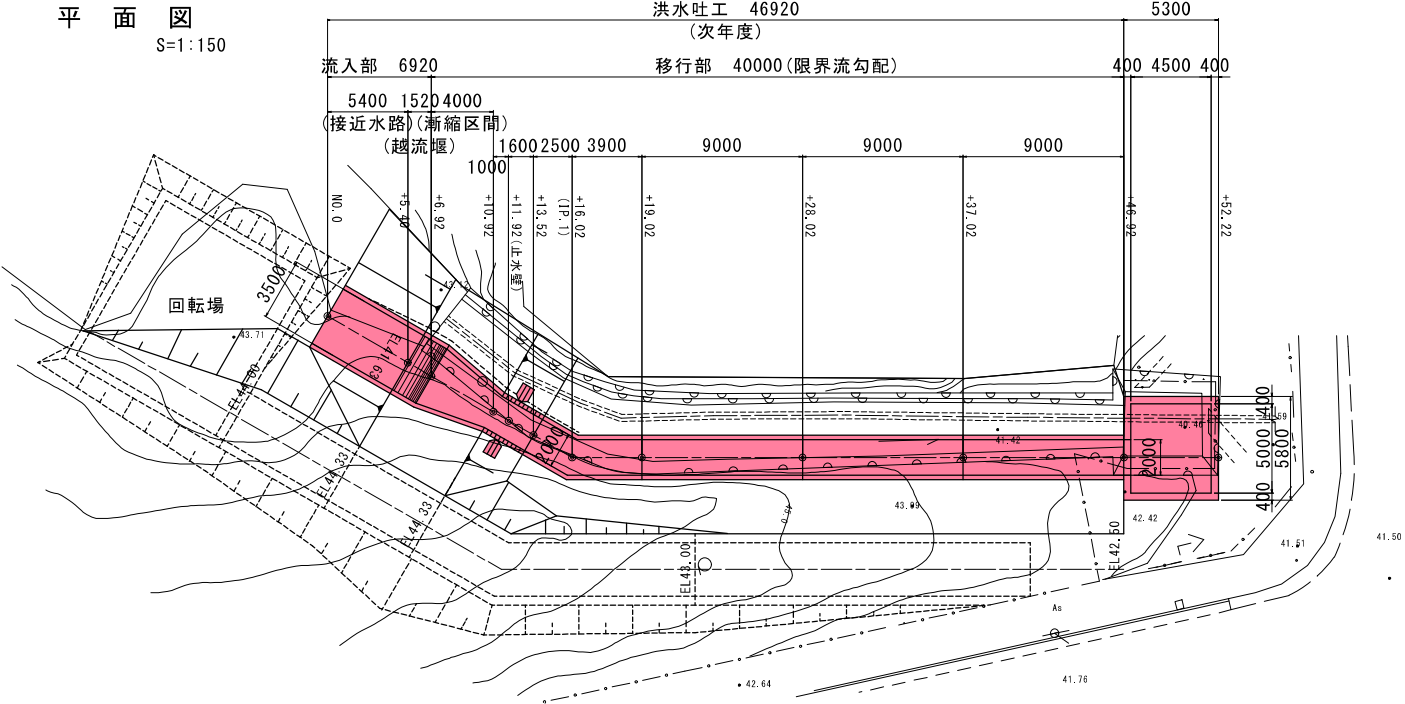


工事名	大牟田地地震耐性評価及び基本設計業務		
図面名	農村地域防災減災事業 大牟田地区 地区概要図 (1/3)		
年月日			
尺度	図示(A1縮尺)	図面番号	1/3
会社名			
事業所名	春日市役所		

農村地域防災減災事業 大牟田地区 地区概要図

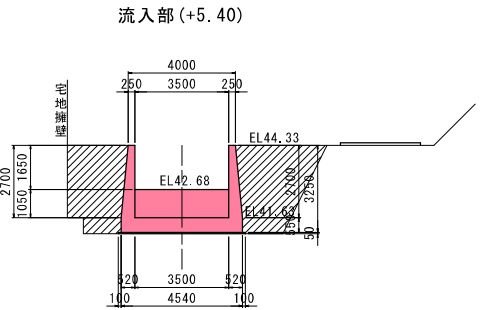
平面図

S=1:150

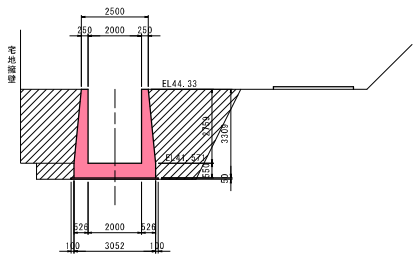


断面図

S=1:100

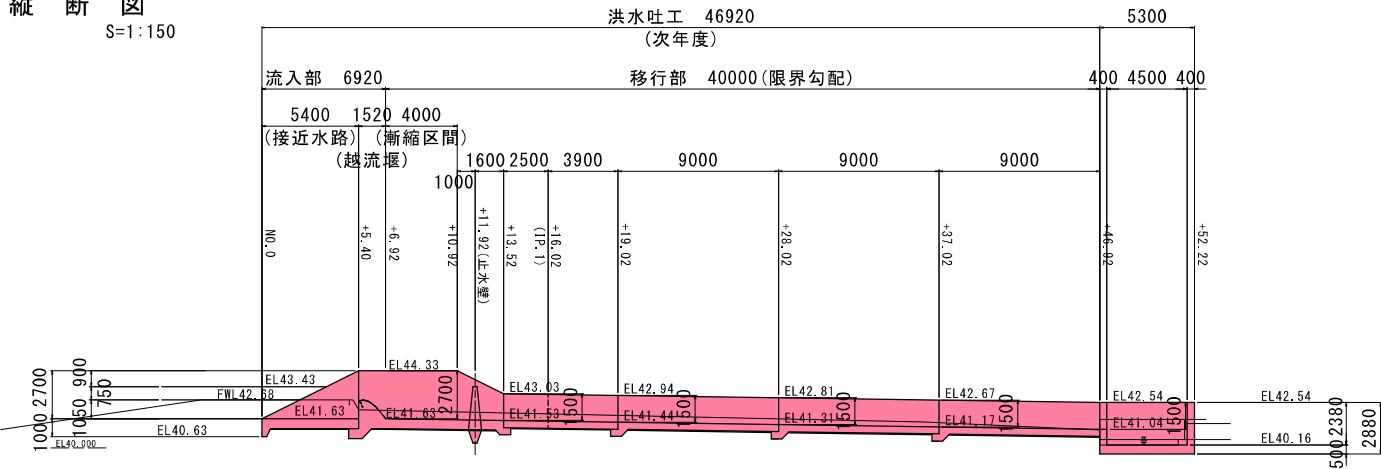


移行部 (+10.92)

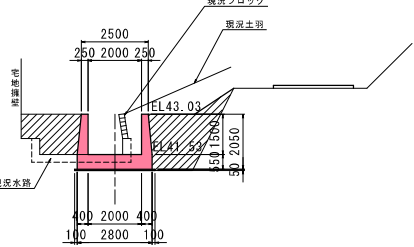


縦断面図

S=1:150



移行部 (+13.52~+46.92)



工事名	大牟田池地震耐性評価及び基本設計業務		
図面名	農村地域防災減災事業 大牟田地区 地区概要図 (2/3)		
年月日			
尺 度	図示 (A1縮尺)	図面番号	2/3
会社名			
事業所名	春日市役所		